フランス式庭園

校章

農林高校新聞

発行者
山梨県立農林高等学校
甲斐市西八幡４５３３
ＴＥＬ０５５-２７６-２６１１
ＦＡＸ０５５-２７９-１４１３

接ぎ木と教育活動

校長　中島　勝人

学校教育活動の一部を接ぎ木に例えてみた。ぶどう・桃などの栽培において、山梨は日本一の生産県である。その果樹生産は苗木から出発する。苗木は、台木に目的とした穂木を接ぎ木する。台木は病害虫に強く、栽培地域の風土や土壌に適した逞しい植物を活用したい。

接ぎ木を成功させるには、適した道具と熟練した技術が必要である。切れの良い鋭利な刃物で、台木と穂木の形成層が合体できるように、互いに適度な切れ込みを入れ、台木・穂木を接合した後、しっかりとテーピングする。やがて合わさった所から癒合（ゆごう）組織（カルス）が発生し、一本の苗木は完成する。

台木は学校教育を司る教師集団であり、穂木は将来に渡って夢と希望を持った次代を担う生徒たちを接ぎ木するのである。良い苗木を育成するには、親和性が大切である。前記した癒合組織をいかに誘導・発生させるかである。そのためには、互い（教師と生徒たち）の形成層の接合面をしっかりと結びつける必要がある。この二つの関係を整備するのが私の仕事だと考えている。

学校教育活動は生徒と教師との信頼関係が重要である。一本の苗木が、がっちりとした健康な苗木になるか、ひ弱な苗木となるかで、その後の栄養成長の推移については論じるまでもない。また、順調な生育をしている段階で、思わぬ自然災害の発生により、接ぎ木部分から折れてしまうことがある。従って支柱などの支えが必要である。この支えをしていただけるのが保護者の役割だと考えている。接ぎ木後、しっかりと花芽分化させ、美しい花を開花させるためにも、学校教育活動において生徒・教師との信頼関係を基盤とし、保護者（地域関係者）の御協力を得ながら、「咲ける農林、輝く農林、誇れ農林」として、百十一周年に相応しい学び舎を築こうではありませんか。

高校時代の回想

三年生の時、農業クラブの全国大会出場を目指した。理由は、北海道に行きたかったことと、鑑定競技会で最優秀賞をとり文部大臣賞を獲得すること。そんな気概を持って挑戦をした。北海道までは東北本線で青森まで行き、青函連絡船に乗って当地に渡った。しかし、当日は台風の影響もあり福島県内の線路が水没したため、列車内で一夜を明かし、かなりの時間を費やしたことを記憶している。

さて、最優秀賞を狙った私は次の対策を考え実行した。①出題範囲が示されているので、専門用語を全て完璧に覚え実物を確認する。②その実物の用途・農業的価値等について理解する。③植物や昆虫等が北海道の地域で栽培・生息されているか確認する。④植物、昆虫、農薬、土壌の種類など標本にできるものは、標本として保存し、繰り返し実物を確認する。この４項目について、学習ファイル等を工夫して意欲的に自主学習に励んだ。また、専門教科の先生の所には何度も足を運び指導をいただいた。

競技後の自己採点は、４０問中３８問正解でき最優秀賞はいただきと内心思った。しかし、上には上がいるもので優秀賞の賞状をいただいたが、とても悔しい心境であった。引率された川口豊先生から、「努力した汗とその悔し涙を大切にしなさい。」と励まされた。その恩師の言葉が私の座右の銘となっている。

日々積み重ねた学習や粘り強い活動の中で、人は成長すると信じている。高校時代にたくさんのことにチャレンジし、自己の夢の実現を成就することを生徒の皆さんに期待する。

田植え祭り ～一年生全員で田植え体験～

六月二日（火）、田植え祭りを実施しました。朝、神農神社にて先生方・農業クラブ会長・生徒会長・一年生各ＨＲ長五名が、田植えの安全と豊作を祈願し、「早苗」を奉納しました。午後の田植え祭りでは、一年生百五十六名が田植え体験を行いました。昭和二十四年度からの記録によると今年で六十六回目となる伝統行事です。生徒は田植えをとおして、主食である「米」の生産への意識を高めることができました。田植え後、「黎明米」のおにぎりと食品科学科で製造したネクターで会食をし、「食」の大切さを学ぶ学習となりました。十一月七日（土）の収穫感謝祭では、今回植えた新米を販売する予定です。米の品種は、「コシヒカリ」と「コガネモチ」です。田植え当日は、多くのメディアの取材もあり、テレビ放映されました。

生徒指導係の活動報告

一学期の生徒指導係の活動について報告します。４月には第一回原付バイク通学許可式を実施し、十一名が新たに学校への通学が許可となりました。六月十七日にはスマホ・ケイタイ安全教室を実施し、富士通ＦＯＭ社の新籾久美子先生に「スマホ・ケイタイのトラブル」について講話をして頂きました。六月十九日には第一回原付バイク取得許可式を実施し二十三名が許可となりました。また六月十三日には二輪車の技術県大会が交通安全センターで開催され、本校から男女九名が参加しました。女子の部で二年食品科学科の有泉璃咲さんが見事初優勝し、また同じく女子の部で二年食品科学科の近藤世奈さんと男子の部で二年造園緑地科の功刀卓臣君がそれぞれ２位に入りました。七月一日に防犯講話を実施し、韮崎警察署の警察官による防犯ビデオ上映と講話をして頂きました。また、七月三日・七日にはバイク免許取得者の実技講習が昭和教習所と山梨自動車学校で開催され、二年生四十二名と三年生五十四名が安全運転について技術を学びました。七月十七日には三年生の普通自動車免許取得許可式を開催します。

功刀君　有泉さん　近藤さん

第五回「花曇（はなぐもり）」ふるさと俳句大会

この俳句大会は、農林高校出身の俳人である福田甲子雄先生の功績を偲んで毎年開催されているもので、今年で五回目を迎えました。本校は先生の母校であることから、特別参加という形で「先人に学ぶ」事業の一環として俳句の創作活動に取り組んでいます。今回は、現二・三年生全員が春休みの課題として、一人二句ずつ投句しました。その結果、「高校生の部」として、「特選」が三句「秀作」が十句、「入選」が三十七句選ばれました。五月十七日に桃源文化会館で表彰式が行われ、「特選」「秀作」に選ばれた生徒のうち四名が出席し、大勢の出席者の前で表彰されました。「特選」「秀作」に選ばれた作品は次のとおりです。

表彰式の様子

特　選

水満ちて田んぼやさしくなっている　二年環境土木科　堀内大雅

水澄みて川底の石光見ゆ　二年食品科学科　伊藤さくら

始まりを教えてくれる桜かな　三年環境土木科　鷹野久史

秀　作

春が来てそれでもひまなことでしょう　二年造園緑地科　望月福太郎

満開の兄を見送る桜道　二年システム園芸科　上田和樹

雪どけの音に混じりて子らの声　二年システム園芸科　藤村唯人

桜咲く始めに戻る物語　二年食品科学科　伊藤さくら

桜舞う新たな仲間ドキドキす　二年食品科学科　田中　栞

正直に腹減ってくる桃の花　二年食品科学科　横山和輝

花一枝えいやと投げて花吹雪　三年環境土木科　三澤諒太郎

夜空みて冬のオリオンどこですか　三年森林科学科　栄野比ホセ

妹のライバルはこのおひなさま　三年食品科学科　内田彩夏

ゴールデンウィーク学校が静かなり　三年食品科学科　中村真規

第67回山梨県高等学校総合体育大会

平成27年度　第67回山梨県高等学校総合体育大会が5月13日（水）より3日間行われました。各部とも日頃の練習の成果を発揮し、素晴らしい試合が各所で見られました。成果が結果として表れている部と残念ながら表れていない部がありますが、生徒たちは精一杯持っている力を出し切っていたと思います。高校総体に引き続き夏のインターハイ予選が6月にあります。全国大会出場の切符をかけて、熱い戦いがそれぞれの場所で展開されます。生徒達は一試合ごとに確実にステップアップをしています。今後とも農林高校の生徒の活躍に期待したいと思います。

陸上競技部　男子総合「10位」（37点）／女子総合「14位」（8点）▽1500㍍決勝「10位」4分18秒38笠井虎壱（2F）、「13位」4分20秒24穂坂快晴（2S）、▽5000㍍決勝「8位」16分25秒15笠井虎壱（2F）、「11位」16分46秒84神宮司和真（3F）、「24位」17分36秒47郡泰良（3H）、▽3000㍍SC決勝「6位」9分48秒14笠井虎壱（2F）※関東大会出場、▽5000㍍W決勝「5位」24分53秒48郡泰良（3H）、▽走り高跳び決勝「16位」1㍍65㎝佐野歩夢（1年5組）、▽砲丸投げ決勝「4位」12㍍53㎝栄野比ホセ（3F）※関東大会出場、「8位」11㍍09㎝三神大樹（3G）、▽円盤投げ決勝「1位」38㍍10㎝栄野比ホセ（3F）※関東大会出場、「11位」28㍍97㎝三神大樹（3G）、▽ハンマー投げ「1位」58㍍50㎝栄野比ホセ（3F）※関東大会出場、「2位」47㍍03㎝三神大樹（3G）※関東大会出場、▽1500㍍決勝「6位」5分02秒64石井彩（2S）※関東大会出場、「7位」5分04秒18田中栞（2S）、「15位」5分19秒78石原朱理（2H）、▽3000㍍決勝「7位」10分50秒50石井彩（2S）、「8位」11分06秒86田中栞（2S）、「20位」12分08秒19落合真子（1年1組）

レスリング部
◎団体戦「2位」　農林1―6韮崎工業
◎個人戦【フリースタイル】▽50kg級「優勝」高橋三四郎（3F）、▽55kg級「3位」神田優人（2F）、▽60kg級「2位」田口学容（2E）、▽66kg級「2位」飯久保翔太（2G）▽74kg級「2位」山本丈助（2E）、▽84kg級「2位」豊田勝弘（3G）、▽96kg級「3位」大野健太（1年4組）、▽120kg級「2位」高橋三十郎（1年1組）、【グレコローマンスタイル】▽50kg級「優勝」高橋三四郎（3F）、▽55kg級「優勝」神田優人（2F）、▽60kg級「2位」田口学容（2E）、▽66kg級「3位」飯久保翔太（2E）、▽74kg級「3位」功刀卓巳（2G）、▽84kg級「2位」豊田勝弘（3G）、▽96kg級「3位」大野健太（1年4組）、▽120kg級「優勝」高橋三十郎（1年1組）

ソフトテニス部
◎団体戦【男子】農林1―2甲府東

卓球部
◎団体戦【男子】農林0―3巨摩
◎団体戦【女子】農林1―3甲府東

弓道部
◎団体戦【男子Aチーム】、【女子Aチーム】3回戦進出敗退、【男子Bチーム】2回戦敗退

テニス部
◎団体戦【男子】農林0―3城西
◎団体戦【女子】農林1―2駿台

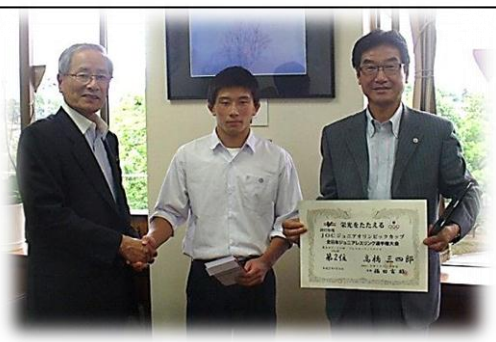
剣道部
◎団体戦【男子】農林2―3吉田
（先鋒・伊東、次鋒・浅野吉、中堅・浅野正、副将・小宮、大将・菊池）

バスケットボール部
【男子】2回戦　農林85―52甲商、3回戦　農林40―147東海

柔道同好会
◎団体戦【男子】農林0―4身延　初戦敗退

2015レスリングアジアカデット選手権（インド）準優勝・3F高橋三四郎君

平成二十七年六月十一日からインド（ニューデリー）で行われましたアジア・カデット選手権大会に本校3年森林科学科の高橋三四郎君がグレコローマン50KG級日本代表として参加し、準優勝、銀メダルを獲得することができました。第一シードとして2回戦にキリギスタンの選手と対戦し、判定4―3と辛くも勝利を収め、決勝に駒を進めました。決勝の相手は開催国インドの選手との対戦となり、残念ながら判定で敗れてしまいました。高橋君は、「昨年度、世界カデット選手権では、1回戦で負けてしまい、世界との力の差を痛感し、それを克服できるようトレーニングに励みました。この度の準優勝という結果は大きな自信となりました。8月にはインターハイ、全国グレコローマン選手権と二大大会が行われます。さらなる飛躍を目指し、優勝目指して精進していきたいと考えます。ご声援ありがとうございました。」と述べています。



甲斐市長に報告する高橋君　右は校長

準優勝の高橋三四郎君（左）

インターハイ入賞目指して
～陸上部ハンマー投げ栄野比ホセ君（3F）～

今年度、和歌山県で行われるインターハイに出場する選手が農林高校陸上部にいます。森林科学科3年の栄野比ホセ君です。栄野比君はハンマー投げをメインに行っており、昨年の5月頃から確実に力をつけてインターハイにも出場。国体では2年生ながら10位となる素晴らしい成績を残しました。インターハイで8位入賞することを目標に冬季練習も行ってきました。インターハイ山梨県予選では大会記録に2㎝及ばなかったものの58㍍50㎝と素晴らしい投擲を見せて優勝。インターハイに向けて順調な仕上がりを見せました。この記録は6月時点で全国高校ランキング9位とインターハイ入賞が現実となるような記録でした。続く関東大会は山梨県で6月20日に行われました。

関東大会にはこの時点で全国高校ランキング1位の選手がいます。その選手に勝って勢いをつけてインターハイに出場できればと本人も気合いが入っていましたが、結果はベスト記録に及ばない56㍍60㎝で3位でした。インターハイの出場権は得ましたが本人としては悔しい結果となりました。「必ずインターハイでは60㍍を投げて入賞します」と関東大会の雪辱に燃えていました。インターハイは7月29日から行われます。そこでは誰もが驚くようなビックスローを見せ必ず素晴らしい結果を残してくれると信じています。

写真部の活動

三月、四名の卒業生を送り出した写真部は、新三年生八名、新二年生一名でスタートを切った。高文連や高写連主催の大会で、ここ数年順調に成績が出るようになった。今の写真部の課題は、「伝統」と呼べるものを作ることである。四月、新入生入学後の部員達の最大の関心は、どれだけの部員が入部するかである。新入生が入部しないと、三年生引退後、部の存続が危うくなる。部の登録集会では、予想以上の七名の新入部員を迎えることができた。全部員数は一六名。ここ数年にない大所帯になった。五月、先輩から写真の基本を学んだ一年生は、最初の大きな行事「高校総体撮影会」に臨んだ。炎天下、機材を抱え、二日間長時間の撮影を行う。過去、この撮影で音を上げ、足が遠のく部員もいた。今年は、そのような生徒は一人もおらず、順調に活動を続けた。そして、六月二十日の春季審査会では、一年二組の原澤大成君が入選を受賞した。三年生は坪井智君と薬袋日和さんが佳作を受賞した。今年最初の大切な大会で良いスタートを切ることができた。

原澤君の入選作品『まなざし』

目標はベスト8！バスケットボール部男子

バスケットボール部男子は、インターハイ予選で三年生が引退し、二年生六名、一年生九名、そして頼りになる一年生マネージャー四名の計十九名で活動しています。今年度の最初の試合は県総体でした。抽選により一回戦はシードとなり、初戦は二回戦となる甲府商業高校との試合でした。ゲーム開始の立ち上がりでは圧倒されたもののゲームメイクがかみ合い、85-52 で逃げ切ることができました。ベスト8を掛けた三回戦はこの大会で準優勝をした東海大付属高校との試合でしたが、次の試合に繋がる内容となった 40-147 で敗戦しました。次にインターハイ予選の結果です。この大会も一回戦はシード、二回戦目となる白根高校との試合では 79-61 と約十ゴール差をつけ勝利することができました。ベスト8を掛けた甲府昭和高校とのゲームでは、壁を感じる結果となる 62-98 で敗戦しました。バスケット経験の指導者がいない中、自分達で練習内容を考え、数多くの練習試合に取り組み、目標であるベスト8をチーム一体となってつかみ取りたいと思います。

少人数だからこそ～剣道部

現在、剣道部は三年生一名、二年生五名の少人数で活動しています。一年生がいない寂しい状況の中で、菊池朋弥（3F）主将を中心に部を盛り上げ、心技体すべてが成長できるよう日々鍛錬を行っています。今年度の戦績は、総合体育大会個人戦・団体戦ともに一回戦敗退。インターハイ予選個人戦では伊東京兵（2S）、浅野正貴（2F）が二回戦敗退。団体戦二回戦敗退で、昨年度、団体戦でベスト8に進出しているだけに悔しさが残る結果となりました。この悔しさを晴らすために、少人数だからこそ生まれる《チームワーク》を活かし、コーチ・保護者・OBOGの方々のお力添えをいただいて、冬の高校選抜に向けて取り組んでいきます。応援をよろしくお願いします。